

味見のプロが選ぶ「全国米鑑定コンクール」

## 下呂市生まれ 「龍の瞳」金賞

「お米のコンクール」主催で、下呂市秋原町と呼ばれる第八回全国米 宮田の兼業農家今井隆さ  
・食味分析鑑定コンクー  
ル(米・食味鑑定士協会 農業曾我純次さんが栽培

した「龍の瞳」(品種登録名のちのち)が、金賞を受賞した。関係者は「味見のプロが選んだだけに非常に価値ある受賞」と喜んでいる。

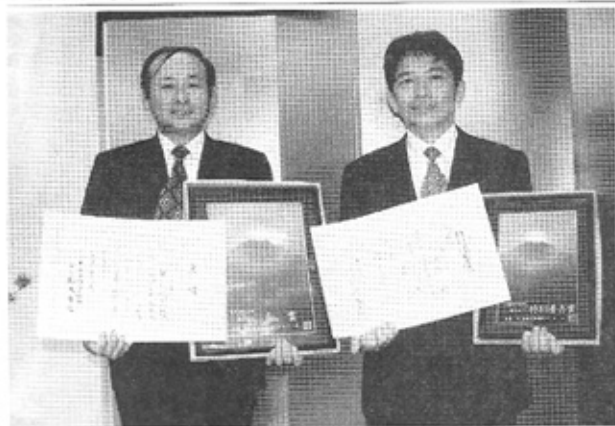
同コンクールは二十五日に福井県武生市であり、全国から千七百八十二点が出品された。

曾我さんの龍の瞳は食味計審査、味度計審査を経て、三十九点が選ばれた最終審査に進出。実際

に審査員が口にする官能テストの結果、十二点が金賞を受けた。金賞のうちコシヒカリではなかったのは、わずか二点だったという。

関係者は「また全国的には無名の龍の瞳が、高い評価を受けたことは驚きだ」と話している。

また、龍の瞳生産組合の曾我康弘組合長「下呂市野尻」が栽培したコシヒカリも最終審査に進み、特別優秀賞を受賞した。



受賞を喜ぶ金賞の曾我純次さん(左)と特別優秀賞の曾我康弘さん—福井県武生市のホテル